

「上町町内会の皆さんと町長との語る会」記録（H29.8.24） 参加者 32人（男性22人・女性10人）

| No. | 質問事項等  | 答弁等   | 対応課等         | 各課の対応  |
|-----|--|---|--------------|--|
| 1   | <p>突発的な豪雨による畑作物の被害が懸念される。実際に昨年も今年も被害を受けた。藤島川への排水ゲートポンプの設置状況はどうか。</p> <p>三川町は海拔が低い土地であるため、河川が決壊したら水没する。危機管理の最重要課題として捉えて欲しい。</p>                             | <p>「町長」<br/>防災行政無線のデジタル化により、町民に伝達しやすくなった。また、洪水ハザードマップにより、被害区域や避難場所も把握できるようになっている。</p> <p>藤島川へ内水を速く排水するため、県がゲートポンプの設置を瀦地区と土口地区の2箇所に進めている。来年から瀦地区に工事着手するに際し、どういう構造になるか今年の秋に関係町内会に説明する予定。</p> <p>三川町は今までも水害を何度も経験してきた。国も赤川洪水時の水を安全に流すことができるように対策を進めているが、治水については言われる通りだと思っています。</p> | 総務課<br>産業振興課 | <p>国や県では、近年の集中豪雨に対応した洪水浸水想定の見直しを行っており、新たな洪水浸水想定に基づき、町の洪水ハザードマップも平成30年度に見直すこととしている。</p> <p>また、近年、特に問題となっているゲリラ豪雨などの急激な雨水による浸水被害等を防ぐ目的に、町では京田川農村地区防災減災事業に取り組んでいます。強力な排水ポンプを瀦地脇の二丁掘排水門と土口地区の二丁排水門の2箇所に設置し、内水の強制排出による防災減災に対応することとしており、平成30年度中の稼働に向けて事業を進めています。</p> |
| 2   | <p>学童保育所について、地域交流・子育て支援施設に整備される予定であり、町から助成金をいただいて運営しているが、親が忙しくて子を預けているのに、運営にまで親が関与しているため大変。せつかく預けているのに負担が掛かっている。町運営にできないか。町直営でなくとも、町がどこかに委託することはできないか。</p> | <p>「町長」<br/>学童運営協議会は保護者と地域が一体になって運営しているが、保護者の負担軽減につながるよう、町からの支援も拡大してきた。学童運営協議会会長とも協議をしてきたが、今後の新しい施設に向けた整備だけでなく、ソフト面の対応も子育て施策の一環として捉えていきたい。</p>  | 健康福祉課        | （左記回答のとおりです）   |
| 3   | <p>河川広場は地元の福島にもあるが、年々整備されなくなり、利用者も減少しているのを見ている。三川で新しく作る施設は、ずっと長く使えるようにしていただきたい。</p>  | <p>「町長」<br/>かわまちづくりによる河川公園は、親子や地域の行事などでたくさん活用していただきたい。活用と管理は、各種団体や地元企業からも参画いただいて、自分たちの公園として利用してもらえないかと話をしている。維持管理にあまり経費を掛けないように、という話もあるが、せつかく整備する公園なので、いかに利用してもらえるかを考えていきたい。</p>  | 建設環境課        | <p>赤川河川緑地ふれあい広場については、自然環境を活かした総合型都市公園として、国と町が連携しながら整備を進めており、整備後も多くの方が訪れていただけるよう、適正な施設管理に努めます。</p>  |

| No. | 質問事項等  | 答弁等  | 対応課等  | 各課の対応  |
|-----|--|--|-------|--|
| 4   | 町の活性化につなげるように、空き家を町が借りて、移住向けのホームステイ先として活用するなどの検討をしていただきたい。       | <p>「町長」<br/>全国的に行政が空き家のリフォーム費用を負担しながら移住に誘導する市町村が多い。三川町の場合、有効活用できそうな空き家の地権者から理解いただけていない。ただ、空き家バンクに登録するとすぐ売れる状態でもある。町内に空き家が170戸ほどあるため、町内会長からも協力いただきながら有効活用できるように進めていきたい。</p>   | 企画調整課 | 空き家バンクを開設しているが、現時点では登録された空き家は全て売却済みとなっていることから、今後も空き家の所有者等に空き家バンクへの登録の呼びかけを行いながら、町内の空き家の有効活用に努めていきます。 |
| 5   | 天童市などでは子育て施設の建設を行政で担い、運営を民間に委託しているが、三川の新しい子育て施設ではどのような運営を考えているか。 | <p>「町長」<br/>町の公共施設は、長い年月使えるか、経費を掛けずにやっていけるかが大事。現状としては、いろり火の里の施設は町が設置し、現在はみかわ振興公社が指定管理者となり、民間として事業を進めてもらっている。アスレなの花も外部に運営を委託している。全国的にもこのような運営が広がっている。<br/>町の新しい施設については、今時点ではどうするか決まっていないが、営業目的ではないため、受託していただけたところがあるかという問題もある。ただ、民間の感覚を入れる必要があるため、町からの運営補助などの委託手法も検討しながら外部に委託することも考えていきたい。</p>  | 健康福祉課 | (左記回答のとおりです)   |
| 6   | 独立した町としての今後の町づくりのビジョンは。  | <p>「町長」<br/>庄内地域全体の人口減少が進んでいるなか、どれだけの役割を担うかということで、行政の競争に入る。そのような中でずっと住み続けてもらえる町づくりをしていくことが大きな課題。<br/>庄内は行政界はあるものの、日常の生活圈や経済圏などの境界がほとんど無い時代に入ってきている。農村集落と違い、若い世帯は住むところを柔軟に変えられる。そのような中でベットタウンも含め、三川町を選んでもらえる、住み続けてもらえる町づくりをしていく必要がある。<br/>町では多くの優良企業が増えてきており、雇用の場も増えつつある。また、三川は交通の要所であり、大規模商業施設があり他の市町村からみれば非常に恵まれていると言われている。田園回帰、四季折々の美しさがある町で、自然環境を維持しながら若者の交流を広げていきたい。</p> | —     |  |

| No. | 質問事項等   | 答弁等   | 対応課等  | 各課の対応   |
|-----|---|---|-------|---|
| 7   | <p>熱中症で亡くなった方がいて、皆ショックを受けている。特に一人暮らしの方は心配に思っている。どのような事に注意をしていけばいいのか。</p> <p>介護認定を受けていればよかったのか。ボランティアでは話を持っていきにくいので、保健師さんの訪問などしていただきたい。</p>  | <p>「町長」<br/>日中に畑仕事をして救急車に搬送される方が多い。民生委員など見守り体制整備づくりがすすめられており、高齢者世帯にいろんな形で声がけしている。急な体調不良の方に、周りで声がけができる地域であって欲しい。体調不良を感じたら、無理をしないで、町の保健師や町内会の保健委員さんなどに相談をして欲しい。</p> <p>介護認定の申請は本人が躊躇してしまうこともあるので、家族や周りの人でも構わないので地域包括支援センターに相談して欲しい。</p> <p>「副町長」<br/>地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口であり、何かあれば遠慮なく連絡をして欲しい。介護の程度が軽度な人にもセンターが中心となって、町独自の支援事業を社会福祉協議会と一緒に実施している。不安や心配事があればセンターや、民生委員さんに相談をして欲しい。</p> | 健康福祉課 | <p>家族形態に関わらず熱中症の危険性や対策の理解が大事であり、今後も注意喚起についてチラシの全戸配布や各種健康事業、民生委員や保健委員さんなどを通じ周知を図っていくとともに、気軽に声を掛け合えることが重要と認識しています。</p> <p>また、不安なことや気になることがあれば地域包括支援センターに寄せていただき、必要に応じ訪問を行いながら対応を図っているところで</p> |
| 8   | <p>老人クラブの運動会が今年で45回目となり、老人クラブ連合会でも今回で1度立ち止まって考えてみることとなった。役員の負担が大きいと、参加チームが7チームにまで減少している。</p> <p>また、地域内でも都会化されて、昔のような地域の中での大人と子どもの関わりが見られず、地域の良さが無くなってきているように思える。そこで、運動会を起点として、高齢者だけでなく地域の子どもたちともふれあえる運動会にできないか。</p> | <p>「町長」<br/>単位老人クラブの役員の負担が大きいと、役員の引き受け手がなく、活動を休止している。老人クラブ連合会へは個人としての参加も認めているようであり、このままふれあい運動会を続けていただければと思っていた。しかし、単位老人クラブの減少に伴い、会員も減少している。運動会については、連合会としても来年以降のあり方を検討しようとしている。</p> <p>近隣住民の希薄化は世代間の認識の違いによるところが大きい。特に若い世代は地域より自分の生活と考える人もいる。本日の会には町内会長さんからの声がけで若い世代の方からも参加いただいているとお聞き、声がけがお互いの世代間の理解につながるものと思う。今年の運動会も負担が少ないように開催時期をずらしているため、私からもこのような形で話をさせていただきたい。</p>             | 健康福祉課 | <p>老人クラブ連合会に加入していない単位老人クラブ等でもチームとして参加可能となりましたが、結果として今年度も連合会加入の7チームと個人会員6名の参加となったところです。</p> <p>人集めがたいへんなこともあり役員の負担が大きいことは把握しており、今年度の運動会開催後に、来年度以降のあり方を老人クラブ連合会とともに検討していく予定です。</p>            |

| No. | 質問事項等   | 答弁等   | 対応課等  | 各課の対応   |
|-----|---|---|-------|---|
| 9   | <p>現在、町の国民年金を支払っている方が900人であるのに対し、受給者は2,500人となっており、1人で3人を支えており、今後も状況が良くならないだろう。継続して安定した生活が送れるような対応を望む。</p>                     | <p>「町長」<br/>国民年金は支える人が極端に少なく、1人で3～4人支える状況で、受給額も少ない。国は将来を見据えて、年金・医療・福祉・介護の制度改正をどんどん進めている。国民健康保険については、来年度から法改正により、県が保険者となり一本化される予定だが、現状はあまり変わらないだろう。<br/>そのような中で国民年金については、以前は農業者やサービス業者の加入が多かったが、少なくなってきた。他の年金については、受給額をもとに負担額を算定するが、国民年金については、負担額から受給額を算定するため、支給額も減ってきている。年金における国の負担について今までも要望してきたが、今後もしっかりと地方から声を出していかなければならない。<br/>しかし、国の社会保障費が増えると消費税率の引き上げをしないと財源が確保できないと言われている。来年、消費税が8%から10%に引き上げられる。これが経済状況に反映なるのか、注視されている。</p> | 町民課   | <p>消費税10%になった際には住民税が家族全員非課税で、前年の年金収入+その他の所得の合計額が老齢基礎年金満額（平成27年度で77万円）を下回る老齢基礎年金受給者に老齢年金生活者支援給付金が支給される予定になっています。一方、消費税についても酒類・外食を除く飲食料品等に標準税率より2%低い軽減税率が適用される予定です。<br/>このように国においては低年金生活者についても様々な施策を行うこととしていますが、今後も社会保障等に関しては要望等が続けていく必要があると感じています。</p> |
| 10  | <p>要介護認定率が20%を越え、ますます増えていく。そのような中で町で推奨している「いきいき百歳体操」を契機にふれあいの場、つどいの場を持つことはいいこと。それに対し行政も、相談くださいだけでなく、積極的に自ら参加するようご指導を賜りたい。</p> | <p>「町長」<br/>元気な高齢者を増やそうと様々な取り組みを実施しているが、情報発信だけでなく、もっと参加しやすいような周知をするようにとよく言われている。今まで参加している方には、継続して参加していただけるようなことも含め対応させていただく。私からも職員に指示していきたい。</p>  | 健康福祉課 | <p>65歳以上の認定率は、ここ数年19%台で推移しています。<br/>いきいき百歳体操は、町内会の健康まつりや健康系の事業でもPRに努めているところであり、さらに、継続していただけるよう定期的に地域包括支援センターで関わりを持ち支援していく予定です。</p>  |
| 11  | <p>農業就労者が減ってきて、農業をする人が減ってきている。15年働くことで国民年金を受給できる制度もあるので、例えば、農業後継者だけでなく、勤め終わってから就農し、15年働いて年金を受け取るなどの策を推奨してはどうか。</p>            | <p>「町長」<br/>定年退職後に就農し、国民年金に加入する人も少ないがいらっしゃる。2025年問題として、団塊の世代の方々が75歳以上の後期高齢者となり、年金・医療・福祉・介護でどれだけのサービスが受けられるか。勤めている方が退職して、家業の農業に従事する際に、福祉の支援制度を含め、これからの現役世代の支援を考えたいと思う。</p>   | —     |   |

| No. | 質問事項等   | 答弁等  | 対応課等           | 各課の対応  |
|-----|---|--|----------------|--|
| 12  | 豊秋団地の緑地公園の2つの遊具のうち、シーソーが老朽化で撤去された。代替りの遊具を設置してもらえるか。                                       | 「町長」<br>その公園については、町内会ではなく、町の公園であり、安全性の問題で撤去したことをご理解いただきたい。再設置については、担当課と調整させていただきたい。  | 建設環境課          | 町の各公園の遊具については、敷地面積や利用状況等を勘案して、適宜配置しています。<br>当該公園の遊具の再設置については、今後、利用ニーズ等を把握しながら、その必要性について検討していきます。 |
| 13  | 町内会内にあるツツジの管理が毎年問題となっており、一時はいらないとまで意見が出された。役場建設環境課から撤去してはどうかと言われ、JA付近にあるような花壇に変えたいが予算がない。 | 「町長」<br>花壇の方が良いとお願いしたが、役場前の町道にある花壇は老人クラブの皆さんから管理していただいているが、管理が大変。ガードパイプを縁石に変えていく工事が始まる。そういった機会もあるので、上町の花壇については、どういう手法にするのがいいか町内会で検討していただき、新たな花壇が必要だとなれば、町の提案制度を活用して予算補助を受けてみてはどうか。 | 企画調整課<br>建設環境課 | 町の景観美化につながる町内会活動にご尽力いただき深く感謝申し上げます。<br>町内会が実施する緑化事業に対して、協働事業提案制度などの支援が可能か、今後検討していきます。            |
| 14  | 春先に町内会で県道沿いの堰掘りをしているが、法面が半分くらい土砂で埋まっているので、何とか改善してもらいたい。（旧国道7号線の佐竹建設の裏側あたり）                | 「企画調整課長」<br>雨が降ると県道から法面を伝って豊秋団地の方に水が流れていたため、水路を入れたが、大量の雨が降ると排水できず、法面に流れて、一緒に土砂も流れているようだ。県には以前から要望しているが、改善するよう引き続き要望していく。   | 建設環境課          | (左記回答のとおりです)   |